

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 岩手

実施担当会員社名	盛岡屋大更店	
実施校名	<u>八幡平市立大更 小学校</u> <u>4年生</u> <u>2クラス</u> 合計 <u>60名</u>	
実施期間	平成21年 6月～	
栽培品目（品種）	枝豆、とうもろこし、じゃがいも	
提携協力先		
実施概要	時 期	内 容
	6/上	品種説明、種まき
	6/下～	草取り
	8/下	収穫
	9/上	調理（ポテトチップス、じゃがいもピザ、カレーライス等）
学校からの評価	<p>じゃがいもは思ったよりも収穫があり、作る喜びを味わうことができた。自分たちで種まきから収穫までを体験することで、食物を育てることの意義を学習することができた。草が生えやすいところだったので、草取りの作業が大変だったが、多くの収穫だったので苦勞が報われた。</p>	
児童からの声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思ったよりたくさん採れたのでうれしかった。 ・ 自分たちで収穫した作物でつくった料理はおいしくて最高だった。 ・ どんな料理にするか、育てているときから楽しみだった。 ・ 種の蒔き方や育て方を教えてもらったのでとてもためになった。 	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めて、種子を播いたり、苗を植えたりする子供たちも居て、戸惑う事もあったが、やはり、自分で手がけた作物は、かわいいらしく、病気や害虫の事、水のやり方など、積極的に質問されたりで、反応の良さに少々驚きました。人間の持っている、「育てる」という本質の大切さを改めて感じました。 ・ 学校管理下という条件の圃場は、予想以上に荒れていて、手が付きにくかった。あらかじめ、年度計画を学校側との話し合いの元、近くの協力者（農家さん）とかの指導の元、畑づくりが必要だと思いました。また、夏休み等、長期休日があるなど、何日も畑を見ないという日もあると思うので、提携協力先の確保と、日々の指導体制が、必要だと思いました。 	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 岩手

実施担当会員社名	(株)山清商店	
実施校名	<u>盛岡市立桜城 小学校</u> <u>2年生</u> <u>2クラス</u> 合計 <u>64名</u>	
実施期間	平成21年 5/15～10/29	
栽培品目（品種）	ミニトマト、ピーマン、サツマイモ、ナス	
提携協力先		
実施概要	時 期	内 容
	5/中	定植実習、畑作り (追肥・芽カキ・誘引など、途中経過観察)
	10/下	サツマイモ収穫
	11/18	調理（大学いも）
学校からの評価	野菜作りに携わる皆様の思いに触れるとともに、物作りの喜びを知る大変貴重な学習をさせていただきました、とのこと。 担任の先生、子ども達からの感謝のお手紙をいただいた。	
児童からの声	「大切にお世話するから、おいしい野菜になるんだね。」 「自分で育てたピーマンを食べられたよ。」 「お店のさつまいもより大きいね。」 と、感激の様子。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	来年度もお願いしたい、と言われていました。 我々も忙しい時期なので、時間をうまく合わせて授業するのが難しいです。	